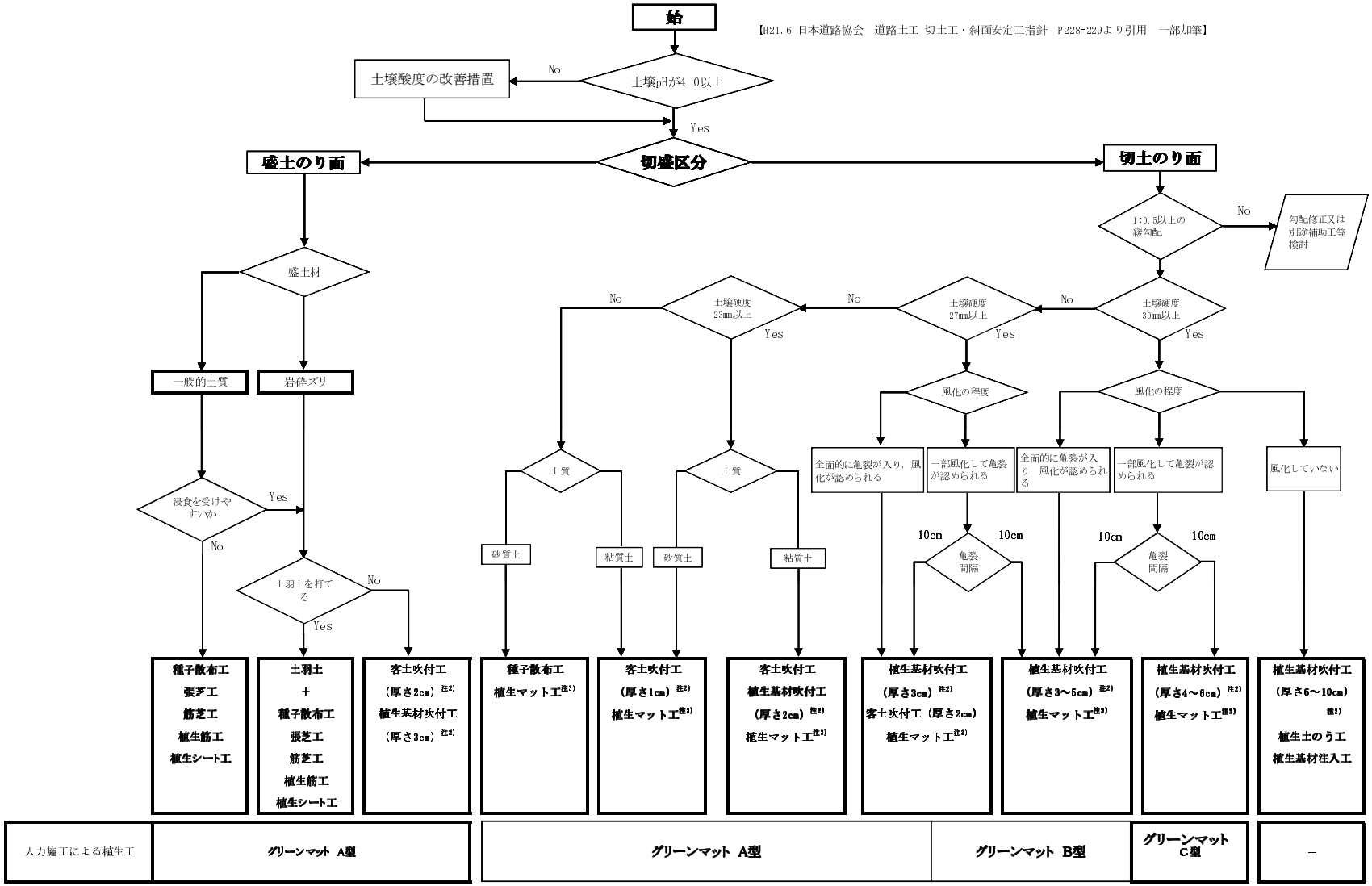

※ 凍上や融雪移動および小落石への対応が必要な場合，もしくは外来草本を除いた配合（在来草本配合）の場合に適用する。

注1）：土壌酸度の改善措置が不可能な場合はブロック張工などの構造物工のみの適用を検討する。

注2）：吹付厚さは緑化目標も考慮して決定する。

注3）：植生マットを適用する場合には，植生基材が封入されたもので，その機能が同条件での植生基材植生工の吹付厚さに対応した製品を使用する。

図　のり面条件を基にした植生工の選定フロー（草本類播種工等）